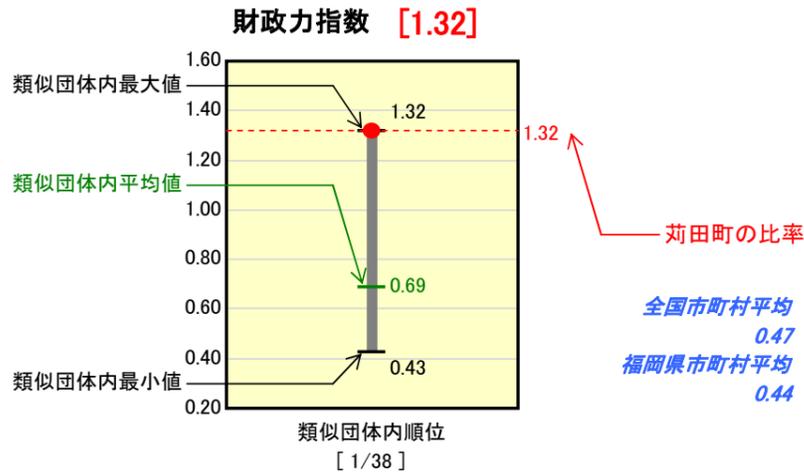


# 市町村財政比較分析表(平成16年度決算)

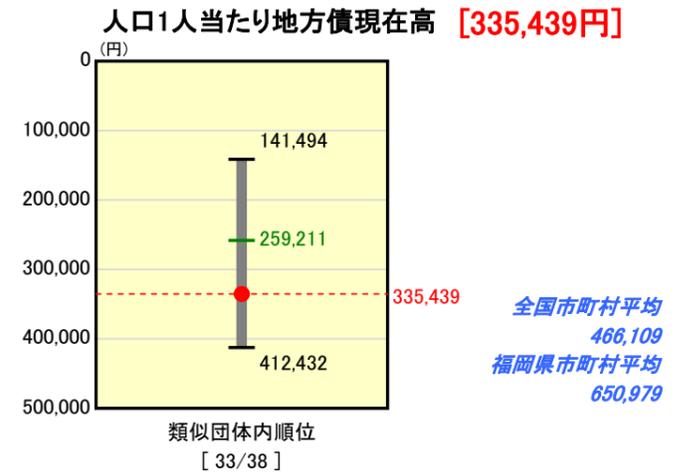
## 福岡県 苅田町

人口	34,186 人(H17.3.31現在)
面積	46.46 km <sup>2</sup>
歳入総額	14,507,038 千円
歳出総額	11,717,414 千円
実質収支	2,188,738 千円

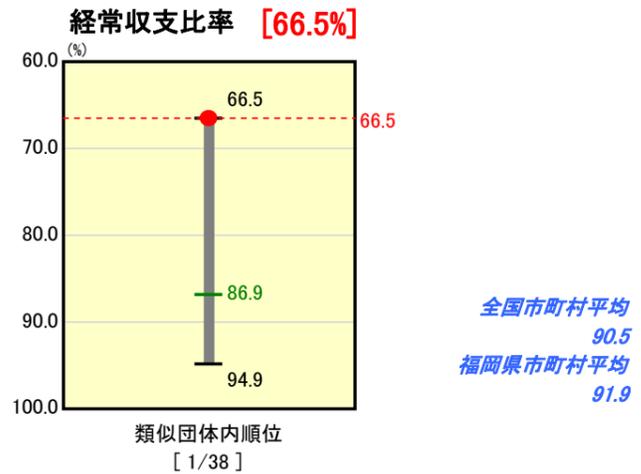
### 財政力



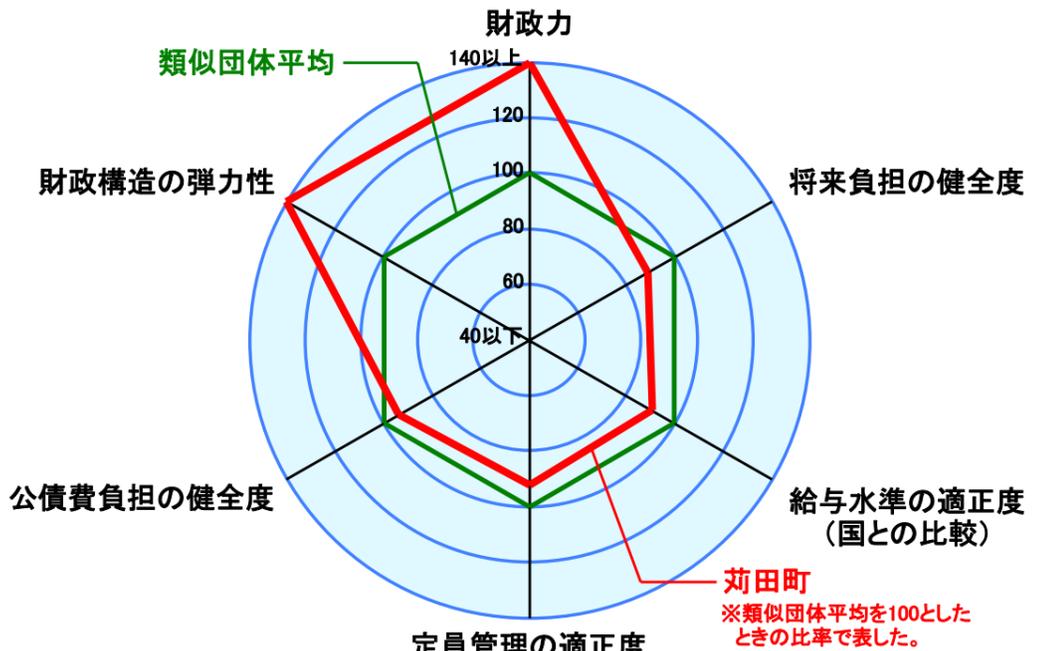
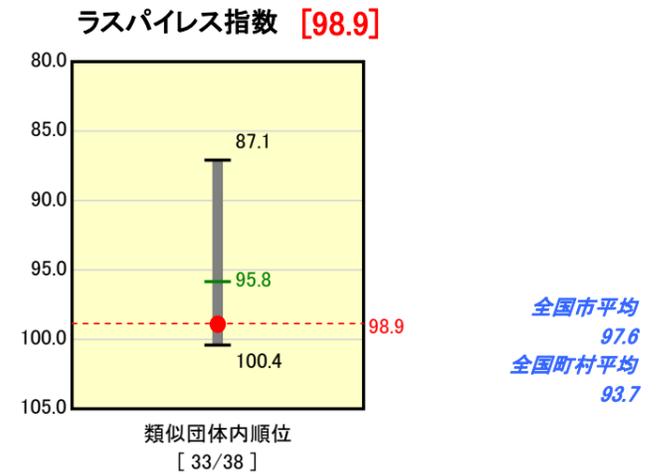
### 将来負担の健全度



### 財政構造の弾力性

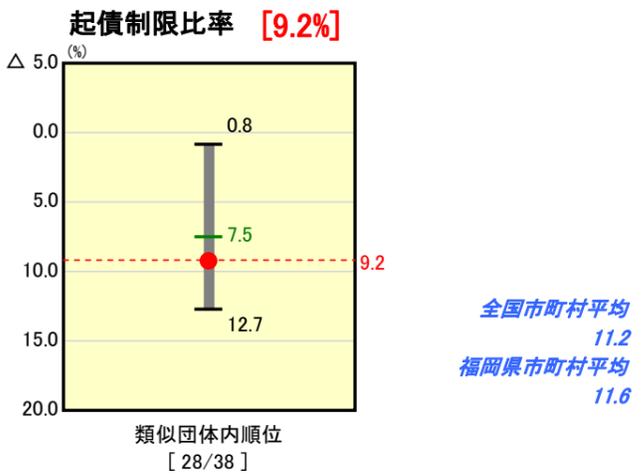


### 給与水準の適正度(国との比較)

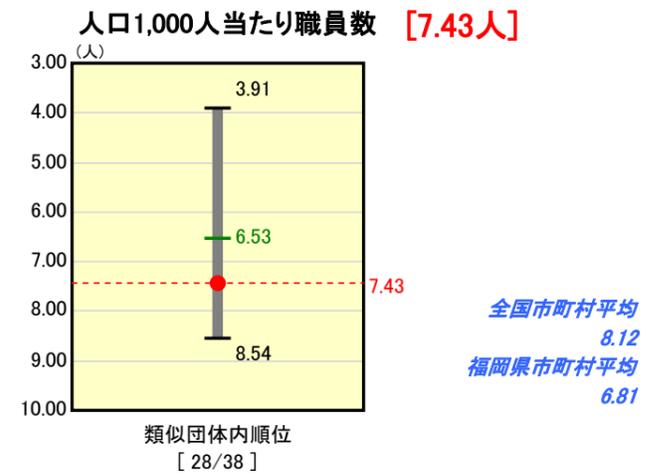


※類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を88のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。

### 公債費負担の健全度



### 定員管理の適正度



#### 分析欄

- 財政力指数  
本町の財政力指数は大型の事業所等の集中により、類似団体平均を上回る収税がある。さらに、収税に関しては、新たな自動車産業の進出もあり、一層の収税増が見込まれる。しかし、法人町民税は景気の変動を受けての流動的な側面を持ち併せるので、より一層気を抜くことなく財政運営に取り組む必要がある。
- 経常収支比率  
地方税、とりわけ法人町民税の大幅な増加により、経常一般財源が増加したため、66.5%という結果になっている。収税の動向に注視し、さらに経常経費の削減を図りつつ、実施計画に基づき、費用対効果を考えながら予算執行に努めなければならない。
- 起債制限比率  
収税の増加により標準財政規模が増加するため、起債制限比率は3年連続で減少傾向にある。これを類似団体の平均と比較すると本町の方が高い数値であるが、全国市町村平均や福岡県市町村平均と比較すると本町の方が低い数値であるので、今後の動向を見守りながら、注意して起債をしていく必要がある。
- 人口1人当たりの地方債現在高  
新北九州空港周辺整備事業や東九州自動車道関連整備事業、苅田駅周辺整備事業など大規模な事業が増加傾向にある。今後は、緊急度や住民ニーズを的確に把握した事業選択により、起債残高の減少に努めていく必要がある。
- ラスパイレス指数  
100を1～3ポイント下回る状況が続いている。国家公務員給料の平均と類似団体平均との間に位置しており、ほぼ適正を保っている。今後も、国や近隣市町村の状況を踏まえながら適正値を維持できるよう努める必要がある。
- 人口1,000人当たり職員数  
平成12年度からの行政改革により平成10年度(282名)から平成16年度までに28名(10%)の削減を行っている。しかし、現在は新北九州空港及び東九州自動車道関連事業・苅田駅周辺開発事業など大型事業が継続中であることから、民間委託の推進とITの活用により行政サービスの質を落とすことなくより適正な定員管理が求められている。